

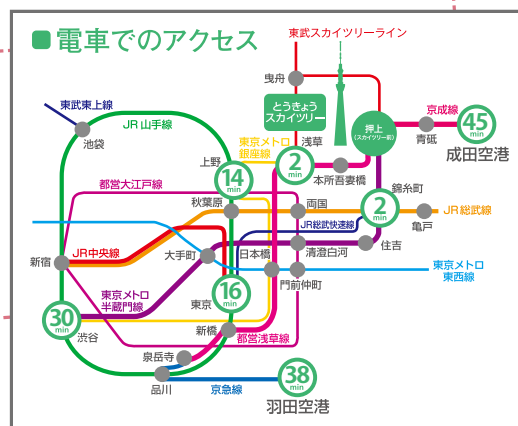
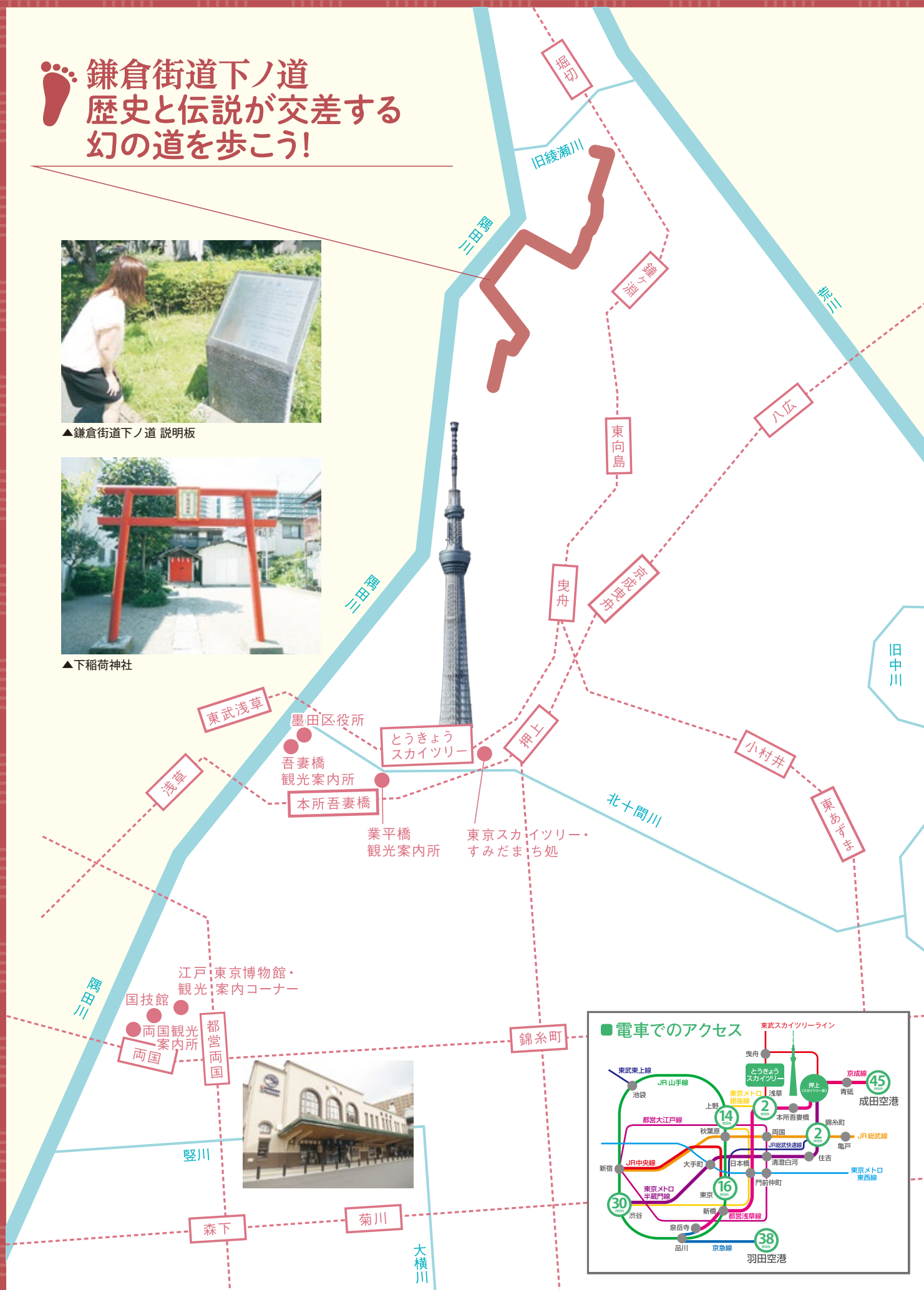
鎌倉街道下ノ道
歴史と伝説が交差する
幻の道を歩こう!



▲鎌倉街道下ノ道 説明板



▲下稲荷神社



鎌倉街道下ノ道

歴史と伝説が交差する 幻の道を歩こう!

鐘ヶ淵
KANEGAFUCHI

正福寺



圓徳寺



多聞寺



おすすめスポット

鎌倉街道下ノ道 説明板
隅田川神社
正福寺
木母寺
圓徳寺
多聞寺

鎌倉街道下ノ道

歴史と伝説が交差する幻の道を歩こう

鐘ヶ淵

古来よりこの地域には重要な街道があり、その周辺には数々の名所・旧跡がありました。「かの時代に」に想いを馳せ街を歩けば多くの言い伝えに出会える、そんなまち歩きはいかがですか？



1 鎌倉街道下ノ道 説明板
鎌倉と下総・上総を結ぶ道は古くから「鎌倉街道下ノ道」と呼ばれていました。源頼朝が常陸国の佐竹氏討伐や奥州征伐に使用したといわれています。郷土の歴史を知る上では欠かせない道すじです。



2 隅田川神社
龍に乗った水神が浮州に上陸し、隅田川総鎮守の神となつたとされています。水神社とも呼ばれ、狛犬ならぬ狛龍が左右に鎮座しています。



3 正福寺
東向島蓮花寺の末寺。参道に、都内最古のものといわれる板碑がたてられています。これは宝治2（1248）年の銘があり、付近の御前栽畑から出土したと伝えられています。



4 木母寺
謡曲「隅田川」などにもうたわれ、小説にもなっている「梅若伝説」ゆかりのお寺です。平安時代半ば、京都から人買いに連れ去られ、隅田川のほとりで12年の生涯を閉じた梅若丸と、我が子を探し歩きその死を知る母の花御前。2人を供養したお寺が梅若寺であり、現在の木母寺です。現在も命日の4月15日には梅若忌として法要が行われています。



5 圓徳寺
華やかな朱の山門が目立つ曹洞宗の寺院で、赤門寺とも呼ばれています。三猿を彫り出した台座に乗り、舟形光背を持つ庚申阿弥陀立像は墨田区の指定文化財です。この地域では「庚申待」という一夜を寝ずに夜を明かす行事もありました。



6 多聞寺
茅葺の山門は、江戸時代中期に造られた区内最古の建造物です。関東大震災、戦災での消失を免れたため、昔日の面影を残しています。また「妖怪狸伝説」とともに狸塚が今も残っており「たぬき寺」とも呼ばれ親しまれています。



榎本武揚像
下町情緒を好み、晩年は向島で暮らし、墨堤を毎日馬で散歩する姿が見られたという榎本武揚。大正2（1913）年に建てられた銅像は、勲章や軍刀に至るまで忠実に再現されています。この銅像は、梅若公園内にあります。